

# 目 次

口 絵

刊行のことば

監修のことば

まえがき

凡 例

上田市誌刊行会長 上田市長 母 袋 創一  
東京大学教授 文学博士 佐 藤 信

## 第一章 檢地と貢租

第一節 檢地と貢租 ..... 3

一 真田氏の天正検地

貫高制とは

真田氏の天正検地

二 貫高制の存続と変質

秀吉が推進した石高制

貫高制に固執した真田氏 仙石氏・松平氏と貫高制

第二節 貢租の率（俵代）と柵

一 真田氏の貫高制と貢租

真田昌幸の貫高制

年貢七俵代と上田柵（大柵）

百姓欠落と還住策

入下と引分

## 二 仙石氏時代の貢租

(1) 村高

真田氏から仙石氏へ

(2) 仙石氏の年貢収納施策

年貢割付状から入下をなくす 寺社領などの免分を半減 仙石氏時代の米納め

(3) 柚と俵

京樹 京樹と大柚 藏前の大柚

(4) 年貢の率と田畠の調査

「ならし」と承応の貫高御帳 一貫当たりの新俵代＝定代

(5) 地方知行制

給入へ年貢を納める

## 三 松平氏時代の貢納

(1) 松平氏の収納施策

米納めになる 定免と当代 御下ヶ札

(2) 金納による百姓の負担

金銭で納める 米相場と金納値段 豊凶からみる相場米

## 第三節 貢納の実際

一 年貢納入の手順

村役人・割審の貢納準備 年貢免相

百姓へ割り付ける 年貢の納入

御物成上納通（年貢領收書）

27

25

23 23

23

21

19

17

17 17

三 増徴に抵抗した農民

耕地の減少 災害の影響

二 貢納米の増減

村役人・割審の貢納準備 年貢免相

百姓へ割り付ける 年貢の納入

御物成上納通（年貢領收書）

30

31

隠し田　永川成を隠し田にする　検見の中止を願い出る

百姓のもくろみ外れ

## 第四節 小物成と国役金

夫役と小物成　小物成の割り付けと納入　国役金

# 第二章 ため池や堰の築造と維持

## 第一節 ため池の築造

|  |    |
|--|----|
| 一 築地池の築造                                   | 43 |
| 塩田平のため池　水を得る苦労とため池への願い　築造へ向けた下準備           | 43 |
| 池普請「たんれん」の庄屋たち                             | 43 |
| 二 砂原池の築造と北の入池の増築                           | 47 |
| 三 築造を指揮した人びと　丁場割からみたため池の築造                 | 47 |
| 四 ため池の築造と維持                                | 52 |
| ため池を維持する苦労　小さなため池を維持する苦労                   | 52 |
| 実らなかつた苦労                                   | 55 |
| 上田地方のため池の築造と改修　天保の飢饉と山田池　西前山の空池　まぼろしの二つ木新池 | 55 |
| 第二節 堤の築造                                   | 62 |
| 上田市内の堰　山崎堰と流域の村　吉田堰と流域の村　ため池の堰　水が流れない長池新堰  | 62 |
| 正徳三年依田川の水を塩田へ                              | 62 |

### 第三章 農民のくらし

|                             |    |
|-----------------------------|----|
| 第一節 農民の生活                   | 71 |
| 一 村の取り決め                    | 71 |
| 二 衣食住の高まり                   | 72 |
| 三 農村の一年                     | 72 |
| 四 年間の定例「遊び日」                | 78 |
| 第二節 農業技術の進歩                 | 81 |
| 一 宝永三年「上田藩村明細帳」(「差出帳」)に見る農業 | 88 |
| 二 農業經營                      | 88 |
| 第三節 農作業と天候                  | 89 |
| 一 農事暦                       | 89 |
| 二 農作業と天候                    | 92 |
| 第四節 近世の時間・生活のリズム            | 93 |
| 一 雨乞                        | 93 |
| 二 明和七年の雨乞                   | 93 |

### 第三節 村役人と身分

一 村役人と農民

組制度と大庄屋・割番

村方の三役人  
本百姓と水呑百姓

被差別部落の人々

二 褒賞と農民

藩財政の窮乏と褒賞制度

格式と農民

### 第四節 土地と農民

一 農民の土地所有

村々の本田と新田  
土地所有の様子

二 農民の山林所有

村々の私有林  
山林所有の様子

三 農家の経営

舞田村と北条家  
北条家の経営

## 第四章 災害・飢饉

### 第一節 水害

一千曲川の洪水

多発する水害

二 戊の満水

|              |                |               |             |     |
|--------------|----------------|---------------|-------------|-----|
| 三 �戌の満水      | 満水の被害          | 『問屋日記』にみる戌の満水 | 満水での流死者と千人塚 | 115 |
| 宝暦以降の水害大雪    | 天保十三年蛭沢川矢出沢川洪水 | 幕末の水害         |             |     |
| 四 復旧工事       | 藩の借用金と復旧工事     | 大屋橋刎橋         |             |     |
| 第二節 凶作・飢饉・疫病 |                |               |             |     |
| 一 凶作・飢饉      |                |               |             |     |
| 凶作と飢饉        | 元禄と享保の飢饉       | 寛延の飢饉         | 宝暦明和の飢饉     | 121 |
| 二 天明・天保の飢饉   |                |               |             |     |
| 天明の飢饉        | 天保の飢饉          | 上田藩の措置と救恤     | 越後米買人       | 123 |
| 天災地変         |                |               | 藩財政の窮乏      |     |
| 第三節 天災地変・火災  |                |               |             |     |
| 一 天災地変       |                |               |             |     |
| 浅間山大焼け       | 上田を襲った地震       | 弘化大地震と上田      | 川中島上田領の被害   | 130 |
| 寺大地震図        | その後の地震         |               | 横死塚と善寺      | 130 |
| 二 火災・消防      |                |               |             |     |
| 享保の大火        | 御屋形焼失          | 房山と鷹匠町大火      | 江戸時代の上田の消防  | 135 |

## 第五章 宝暦騒動と藩の対応

### 第一節 上田藩で起きた百姓一揆

百姓一揆とは 上田藩で起きた百姓一揆

### 第二節 宝暦騒動

#### 一 宝暦騒動の経過

五つの階段 つのる農民の不満 全藩惣百姓の強訴 打ちこわし 岡部らの対応と主謀者の逮捕

取り調べ・收拾・处罚

#### 二 宝暦騒動の原因

一八世紀中ころの社会 災害やぜいたくで藩財政が窮乏 檢見での増税と松井田相場

#### 三 農民らの要求

町民らの要求

#### 四 藩の対応

藩役人の改替 百姓の要求をほとんど呑む 騒動首謀者の探索と仕置き 藩士への対応

#### 五 桂党右衛門の「小恣録」「私議政事録」から

小恣録私議政事録 原因は僕臣ののさばり 勘定高く無氣力な藩士 政務は民を憐れむ事が第一

藩士の意識を立て直すべき

#### 六 農民の成長

藩政は仁政を 不正の除去を要求

### 第三節 越訴と世直し騒動

天明四年の磯之丞の越訴 文化六年の勇吉の越訴 明治二年の世直し騒動

## 第六章 宗門改め

### 第一節 宗門改めの実際

|  |     |     |     |     |     |     |     |
|--|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 一 人々の動向                                    | 189 | 185 | 185 | 178 | 174 | 173 | 173 |
| 二 人口の変化                                    |     |     |     |     |     |     |     |
| 通婚圈 離婚した人たち 奈良尾村の帳外者 塩田組の帳外者 帰郷令           |     |     |     |     |     |     |     |
| 上塙尻村の人口動態 八木沢村の人口動態 「宗門改帳」の家数と実際の家数 岩下村の場合 |     |     |     |     |     |     |     |
| 八木沢村の場合 年齢構成図から 結婚年齢 死亡                    |     |     |     |     |     |     |     |

## 第七章 入会と山論

### 第一節 入会のようす

|       |     |
|-------|-----|
| 一 入会山 | 197 |
| 入会    |     |

|            |     |
|------------|-----|
| 二 入会の慣行    | 197 |
| 入会の成立      | 200 |
| 山札制度       |     |
| 馬札・歩行札     |     |
| 山の口        |     |
| 平井寺山の刈り方規定 |     |
| 御林の下草刈り    |     |

|      |  |
|------|--|
| 田の肥料 |  |
|------|--|

### 第二節 山論

#### 一 多発する山論

山論

細尾山の出入

野倉山山論

田沢山山論

上室賀山の山論

209

#### 二 江戸出訴になつた山論

(1) 太郎山の山論

袖山の出入

江戸へ出訴

裁許

214

上塩尻浦山の山論

(2) 上塩尻浦山の山論

江戸へ出訴

214

出入の発端

松代へ出訴

江戸出訴

論所の検分

上塩尻の勝訴

217

執筆分担

参考文献

あとがき

## 上田市誌の編さん組織

『上田市誌』全三一冊の編成と書名

表紙 稲倉の棚田（標高六五〇mから九五〇m、勾配は一〇mで一二m上がる。標高・勾配・日照・水もち、どこからみても当時の技術の限界を超える。それでも農民は耕した）

裏表紙 「たはらかさね耕作絵図」（福岡市立博物館蔵・『朝日百科本の歴史を読み直す』から転載）